



# 和光の緑と湧き水だより 会報 Verda185号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報 2018年1月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)  
身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

## 2018年2月、3月の主な予定表

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森	樹林公園
2月	2日環境づくり市民会議 樹林公園幼樹苗床づくり (下旬)	17日 定期保全	7日(水) 富沢湧水調査保全 21日大坂ふれあいの森	2日(第2回樹木再生検討会)
3月	カタクリ・ニリンソウを 訪ねるエコツアー(下旬)	17日 定期保全	14日(水) 大坂ふれあいの 森保全予定	第3回樹木再生 計画検討会

## モニ1000 里地調査「全国交流会・ポスター発表」参加・発表

モニ1000 里地調査では、全国200か所で地元住民や企業の協力を得て、調査が始まって今年で10年目を迎えました。5年ごとの参加で、当会は2013年から「白子湧水群 富沢湧水と大坂ふれあいの森」を対象に里地調査を登録し、植物相及び水環境調査を行ってきました。毎月の調査を継続することは、思っていた以上に大変で、集めたアナログデータをデジタルデータに変換する作業が大変でした。今回のポスター発表に向け、データ解析も出来るようにまとめ、全国交流会で発表することができました。

会場は、足立区千住に数年前に完成した「帝京科学大学 千住キャンパス」で、隅田川のリバーサイドが改修された川沿いにあり、スカイツリーも見られる所でした。

今回実施された交流会のプログラムは、第一部、二部、三部で、10時～16時です。第一部では、シンポジウムで、全国的な調査の成果を伝えることが盛り込まれ、成果紹介と専門家による里山の変化について講演。鳥、昆虫(蝶)、植物、動物、それらの相関などについて紹介されました。

第二部は各サイトのポスター発表。約20団体が展示のポスター前で地域紹介や調査について発表し、様々な出会いがありました。

第三部は3団体による事例紹介がありました。埼玉県飯能市、八王子市、帯広市から。

当会から4名(芝、青木、高橋2名)が午前のシンポジウムから参加し、ポスター発表では和光の湧水を紹介し、和光市自然環境マップを配布したところ皆さんに喜ばれました。第3部事例紹介では、八王子市での長池公園の活動、北海道の帯広の森でモニ1000をしているエゾリスの会の発表に聞き入り、この会を通して多くの方々が、モニ1000調査を楽しもう、頑張りすぎないで、との意識でした。その後設けられた交流会では、全国から参加した方々と様々な活動事例を話し合うことができました。神奈川県秦野市で活動している会では、丹沢山系から湧き出す湧水を調査し、当会と環境が似ていることもあり、有意義な交流会となりました。今後実際に交流が実現すると思います。

### 全国交流会・ポスター発表会の様子



シンポジウム 150人参加    ポスター発表・4名で手分けして湧水の紹介    帯広の森の保全・エゾリスの会

## ★ 2018年白子湧水群大坂ふれあいの森と富沢湧水など雪景色

1月22日の寒波襲来で、和光にも大雪が降り、交通にも影響が出ています。翌日の晴れ間に、「大坂ふれあいの森」と「富沢湧水」の雪景色の様子を見に出かけました。

葉が茂った樹木には、重そうに雪が積もり垂れ下がっていました。富沢湧水の斜面では枯れかけた樹木が斜面に倒れていましたが、それ以外は枝折れなどありませんでした。深山の趣があり、湧水から湯気が出ていました。

第4小学校では、雪合戦が行われていました。



大坂ふれあいの森の斜面林



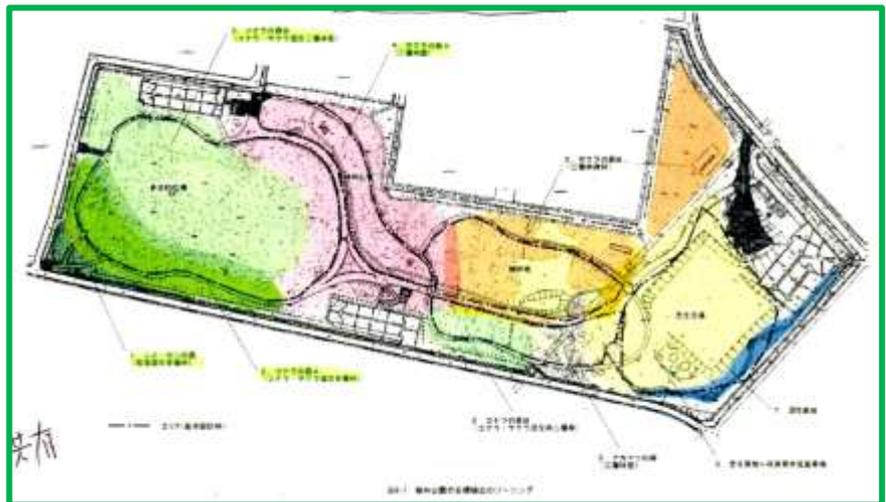
富沢湧水の石段階段

## ★ 和光樹林公園樹木再生検討会について

樹林公園では、桜の木が多く特に花の時期はたくさんの方々が訪れる公園でしたが、4、5年の間に急激に桜が枯れてしまい、枯れ木が多く、現在は枯れ木の伐採中で立ち入り禁止区域が設けられている現状です。今年度朝霞県土整備事務所の呼びかけで、「和光樹林公園樹木再生検討会」が設けられ、湧き水の会が委員として参加しています。当会は、平成13年度開かれた樹林公園多目的広場樹木再生計画から関わり、以来ボランティア団体としてドングリの森づくり、松林育成、ヒロハアマナ保護区整備などに関わっています。今後の再生に向け、今までの活動を継続するとともに経験を活かし協力していきます。

約21ヘクタールの広さの公園を前回8つの植生形態（ゾーニング）に分割し、今回もこの形態を基本に検討を進めていく方針です。

現在は、伐採後見通しの良い広い草原状です。当会で進めてきました樹木の再生として、身近な森で実生から生育してきた樹木を鉢植えで2～3年苗床として育て、その後幼樹を定植し、周囲と共生しながら育てていく方法です。公園は広いので、全体をこの方法で進められませんが、



が、会としてこの方法で樹林公園の一角の樹木再生に協力していこうと思います。仮称「樹林公園 樹木再生の森づくり」です。新倉ふれあいの森や大坂ふれあいの森、富沢湧水、樹林公園などで、幼樹を探し、鉢植えにして園内で苗床として育て育成していこうと思います。コナラ、クヌギ、イヌシデ、ムクノキ、ミズキ、モミジなど根から掘り出しやすい樹木を探し、鉢植えづくりにご協力ください。